

摺上川ダムの洪水調節効果

～河川の氾濫による被害から下流域の人々を守ります～

洪水の概要

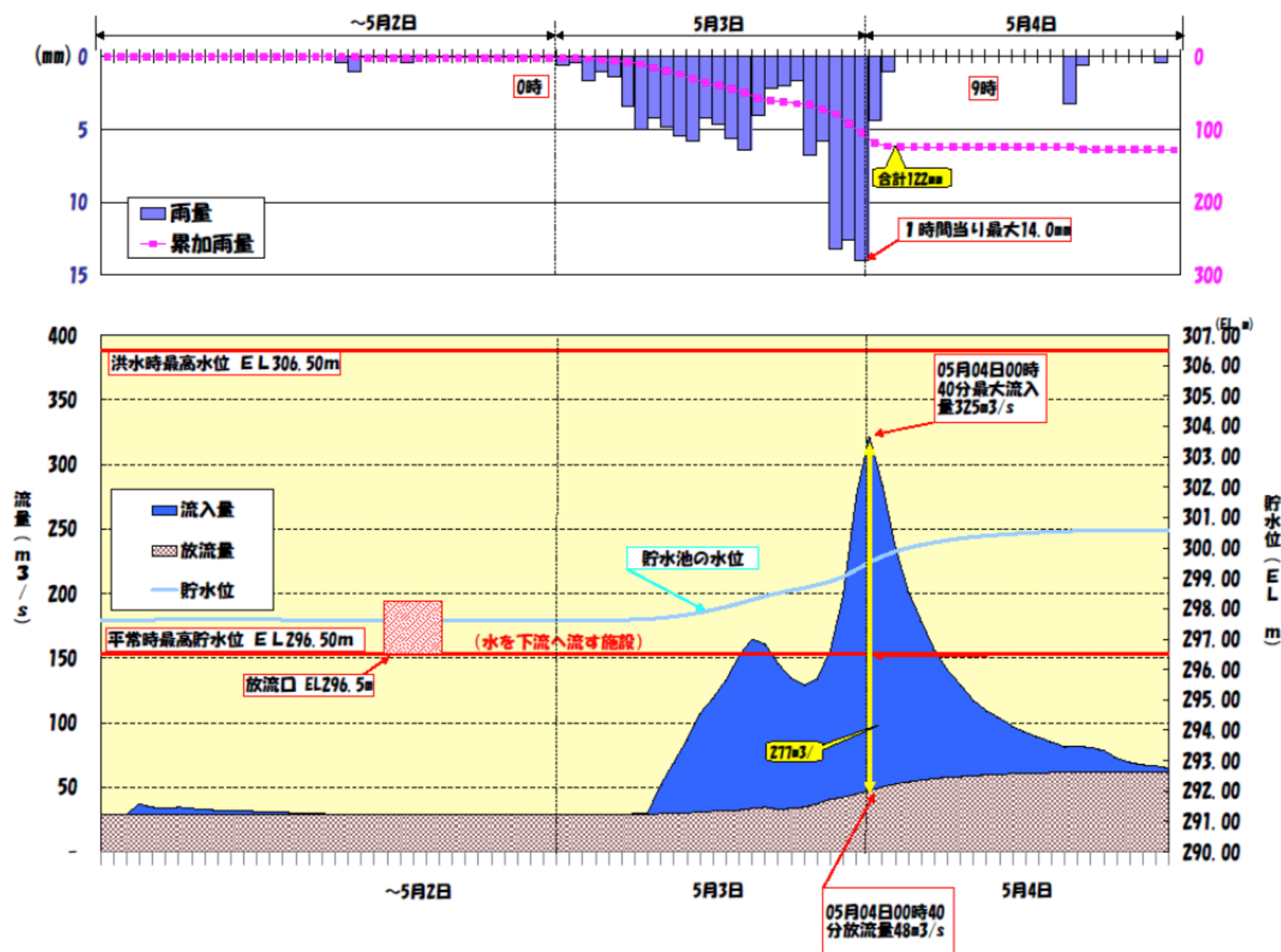
低気圧の通過に伴う降雨により、摺上川ダム流域では平成24年5月3日1:00より雨が降り出し、5月4日2:00までの累加雨量は122mmに達しました。この降雨に加えて雪融けの影響により摺上川ダムへ流れ込んだ水の量は5月4日0:40にピークに達し、洪水量（毎秒100m³）を超える毎秒325m³を記録しました。

摺上川ダムの効果

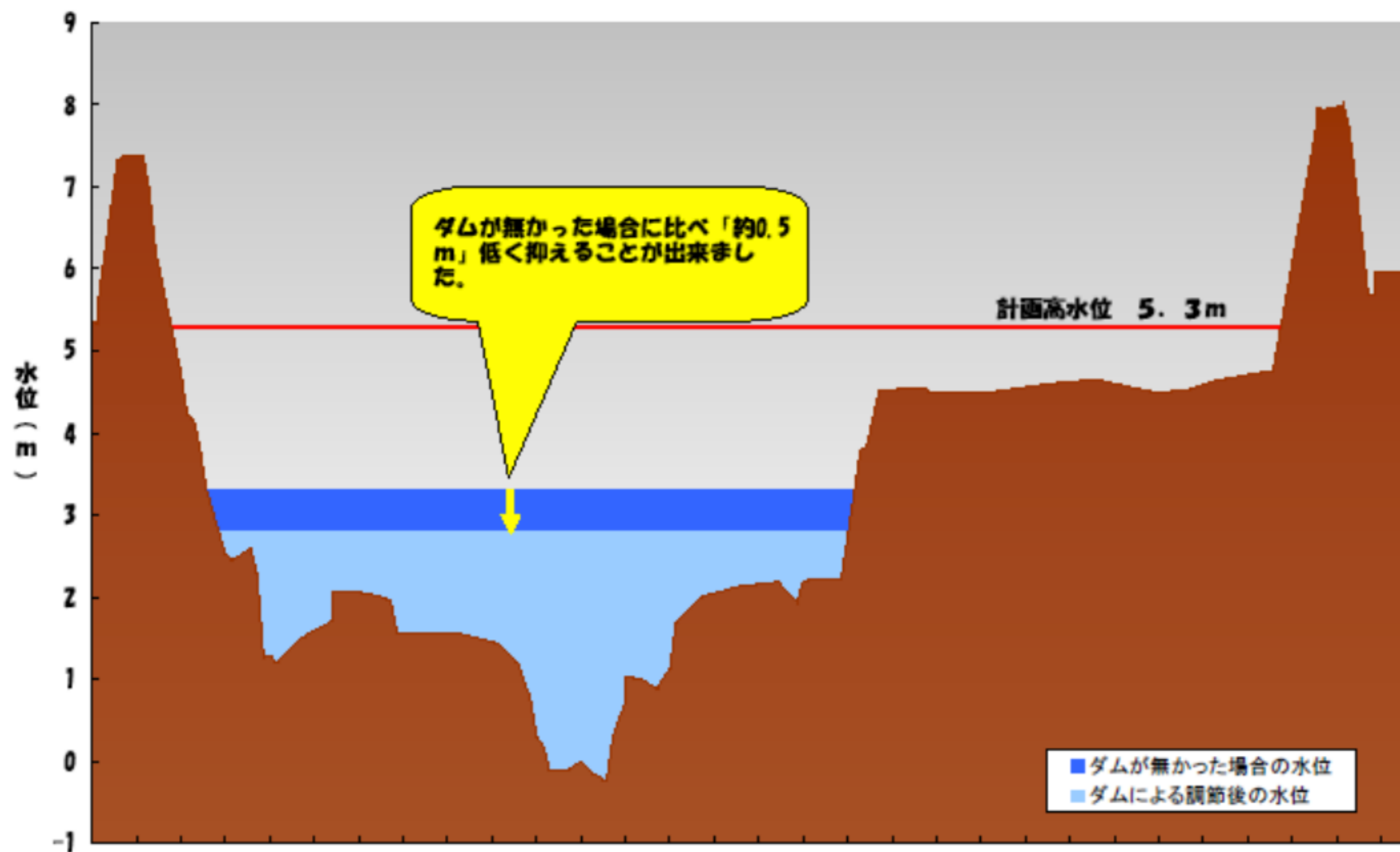
今回の洪水でダムへ流れ込んだ水の量は最大毎秒325m³に達しましたが、下流河川に流した水の量は毎秒48m³に抑えられ、「毎秒277m³」の洪水をダムに貯水することが出来ました。この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約0.5m低く抑えることが出来ました。

洪水調節のグラフ

～H24. 5. 3 洪水調節図～



瀬ノ上地点でのダム効果



瀬ノ上 ダムによる洪水調節効果